

10月からの 介護保険制度改悪

国の介護保険法改悪にもとづく介護保険特別会計予算に反対!

議案124号

平成17年度吹田市介護保険特別会計補正予算について 日本共産党吹田市議員団の意見。

今回の介護保険制度の改正は、新予防給付や地域包括センターの創設など多くの改正があり、今度の9月議会でも議案81号(市立総合福祉会館条例)、82号(市立コミュニティセンター条例)、123号(吹田市介護老人施設特別会計)、などの条例改正や補正予算が提案されすでに可決した議案もありますが一括して意見を述べます。今回の補正予算は、国の介護保険制度改悪を受けての補正予算であります。とりわけ今回の補正予算は、介護保険の中でも利用者や施設管理者の反対を押し切って、ショートステイ

を含む介護保険3施設等の居住費や食費、いわゆるホテルコストについて保険給付の対象外とする、通所系サービスの食費についても保険給付の対象外とするのが大きな問題となっています。

本市では通所系サービスの食費について100円の助成制度を設けられたことは評価するものです。

10月からの今回の改正により、国の示す多床室の標準例によれば、改正後の利用者負担段階の第3段階年金80万円以上市民税非課税の方では、特別養護老人ホームでは4万円から5.5万円個室では7万円、市民税課税世帯では5.6万円が8.1万円個室では10.6万円となります。その他介護老人保健施設、介護療養型施設などもほぼ同様の負担増となります。

これらの影響を受ける市民は第3段階で190人、第4段階で472人のかたが負担増となります。

いま各施設ごとに説明会などが行われているようですが、今度の改悪による影響によって、今月10月からサービスが受けなくなる人が生まれるのではないかと多くの関係者から心配されており、自治体によっては実態が明確になるまで猶予期間を設けられる自治体も出てきています。

今回の制度改悪によって市民負担が増大し、サービスそのものから除外されるかもしれない今度の介護保険制度改悪による関係予算については認めることは出来ません。以上の意見を申し上げて本議案に反対します。



▶▶▶ 特別養護老人ホームの入所者(多床室)における利用者負担の変化の例 ▶▶▶ (単位:万円/月)

	現行				→	改正後				
	保険対象			利用者負担合計		保険対象	保険対象外		利用者負担合計	利用者負担の差
	1割負担	居住費	食費		1割負担	居住費	食費			
第4段階(472人) 標準的なケース (市民税課税世帯の者)	3.0	—	2.6	5.6万円		2.9	1.0(3.5)	4.2	8.1(10.6)	2.5(5.0)万円
第1段階(72人) 生活保護受給者等	1.5	—	1.0	2.5万円		1.5	0	1.0	2.5	0(1.0)万円
第2段階(642人) 年金80万円以下の者	2.5	—	1.5	4.0万円		1.5	1.0(1.3)	1.2	3.7(4.0)	▲0.3(0)万円
第3段階(190人) 年金80万円超266万円以下の者	2.5	—	1.5	4.0万円		2.5	1.0(2.5)	2.0	5.5(7.0)	1.5(3.0)万円

注1) 表中の()内は従来型個室の場合
注2) 改正後の利用者負担段階の第2段階及び第3段階の区分は、収入が年金のみの場合
注3) 保険対象外となる居住費・食費はの額は、実際には施設と利用者の契約によって決められる

高額介護サービス費の見直し(2.5→1.5)

利用者負担軽減措置の設定(特定入所者介護サービス費給付)

日本共産党が提案

- 「次世代育成支援策、保育・学童保育施策推進にかかわる国の予算拡充」に関する意見書 **可決**
- 夜間定時制高校の募集再開等を求める意見書 **否決**
- 「府立高等学校特色づくり・再編整備計画(全体計画)平成17年度(第3年次)実施対象校」(案)の撤回と、第2学区において茨木東高等学校普通科・鳥飼高等学校普通科の存続を求める意見書(案) **否決**

請願2件についても共産党議員団が筆頭紹介議員で提案

- 障害児タイムケア事業の早期実施を求める請願 **全会一致で採択**
- 吹田市法外援護事業における夏期・歳末見舞金制度の継続を求める請願 **継続審査**

平成17年(2005年)9月定例会

	日本共産党	市民リベラル	民主市民連合	自由民主党	公明党	数値いじり職労ワーク
「次世代育成支援策、保育・学童保育施策推進にかかわる国の予算拡充」に関する意見書(案)	○	○	○	○	○	○
夜間定時制高校の募集再開等を求める意見書(案)	○	×	×	×	×	×
「府立高等学校特色づくり・再編整備計画(全体計画)平成17年度(第3年次)実施対象校」(案)の撤回と、第2学区において茨木東高等学校普通科・鳥飼高等学校普通科の存続を求める意見書(案)	○	×	×	×	×	×
自治体病院の医師確保対策を求める意見書(案)	○	○	○	○	○	○
道路整備に関する意見書(案)	○	○	○	○	○	○
がん対策を求める意見書(案)	○	○	○	○	○	○
アスベスト対策を求める意見書(案)	○	○	○	○	○	○

○ 賛成 × 反対

2006
年度

吹田市予算編成に むけての団体懇談会

日本共産党吹田市議員団主催

11月16日(水)

午後6時30分より

吹田市民会館 大集会室

日本共産党吹田市議員団では毎年度、市長と教育委員会に対して市内各団体の要望を聞き、予算要求書を作成し提出しています。ご希望の団体は、ぜひ懇談会にご参加ください。

